

平成30年11月19日

野々市市議会議員 様

(報告者)

会派名 (又は) 考える会

代表者 (議員名) 五十川 員申



政務活動報告書

下記のとおり政務活動 (調査研究、研修、要望・陳情) を実施したので、報告します。

期 間	平成30年 11月 13日から 平成30年 11月 15日まで
視察、研修、要望・ 陳情の場所	文部科学省内スポーツ庁 (東京都千代田区霞が関 3-2-2) カシマスタジアム (茨城県鹿嶋市神向寺後山 26-2) 東京都中央区役所 (東京都中央区築地 1-1-1) 東京都荒川区役所 (東京都荒川区荒川 2-2-3) 一般社団法人フラットデザイン (東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-22-3)
参加者氏名	五十川 員申
目 的 (調査・視察事項)	スポーツ施設の見直しを図っている中で、最新の施設やスポーツ施策の研修を目的とする。また、本市でも保育園や放課後児童クラブなどの定員問題を抱えているが今後増園を考えた際 PFI での取り組みも考える必要があるので保育園の新たな運営方法を学ぶ。 住みよさランキングは毎年上位に入っているが、市民がそれに合わせて幸福に生活できているかは一概には言えない。野々市市において市民が幸福感を感じつつ生活できるような施策も必要となるために取り組みを伺う。中央地区整備事業の民間商業施設の中で、シェアキッチンが開設される予定であるために、運用上のノウハウや、開設後の盛り上げ方を学ぶ。

調査・視察概要	<p>(目的、内容、結果、所感等について記入)</p> <p>カシマスタジアムは、試合のない時の利用をどうあげていくか運営の工夫が随所に見られた。プロの試合時のドクターは試合後のケアもさることながら、スタジアム併設の病院でスポーツ選手や地域の方の運動機能に最適なケアを受けることの出来る病院として運営されており、プロスポーツチームのドクターということもあり賑わいを見せていた。また行政の運営では、なかなか入れることの出来ないと思われるエステがあったりと住民のニーズを調べ収益を上げながら運営をされていることがわかった。野々市においても、PFIで予算面でのノウハウは享受できているが運営面においては、まだまだ、うまく民間ノウハウを取り入れられているとは言い難い。今後作られるであろう体育施設では、金沢武士団との関係も考え、どう野々市の体育施設を健全に運営し市民にサービスを提供できるか考えていく必要がある。</p> <p>荒川区では、区独自で幸福度調査を行っており、調査結果に基づいて様々な取り組みが行われていた。野々市でも雑誌で行われている住みよさランキングで毎年上位に入っているが、市民がそれに合わせて幸福に生活できているかは一概には言えない。外部評価も大事ではあるが、まず現状把握の為に、野々市市民の住みやすさというものを、独自に設定し検証していく必要があると思う。荒川区では、幸福度という指標の向上を政策の一つとして区長が掲げているので、役所の外部組織として政策シンクタンクを設置し区長の政策実現にむけてアカデミアも入れ研究が日々行われている。野々市も市長の上げる政策を推進するために政策シンクタンクのようなものを設置し前へ進めていく必要があると考える。組織を作れば進むものではないが、アカデミアに常時研究を依頼し客観的な情報に基づいての政策実現は今後必要不可欠になると思った。</p> <p>カミーノ併設のシェアキッチン運営にあたり、現状運営されているシェアキッチンを視察した。大きな違いは、シェアキッチン運営者自身が地域にある課題を改善させるために自らはじめ、行政からも声のかけられる会社になっていることでした。</p> <p>本市が、あそこでやって良さそうだから誰かやってくれないか？という感じで始めていては、やはり運営者の課題意識やマインドセットまでは引き継ぐことができず、想像していたものは出来ないのではないかと心配になった。シェアキッチンをなぜやるのか？どういった場所にしたいか？という思いを受けたプロポーザル入札などが最適かと思うが時間に追われて決まっていっている感が本市は否めない状況であったので今後、どう運営者と協議し思いを合わせ進めていくかが鍵になると思った。</p>
	備 考

※記入欄が不足する場合は、欄を広げる等適宜調整してください。